

会員増対策の実施状況や計画等

総務部	魅力ある総会の開催。特別講演のテーマや講師、展示企業との交流で、会員が出席したい、(出席するために) 継続したいと思える内容を企画する。
組織部	まわりの管理栄養士は会員にはなっているが研修会に参加してはいるわけではないので口コミなどでは良いも悪いも広がる。活動を「見える化」へ。
学部	・生涯教育委員会が日本栄養改善学会東海支部会と共催していることにより、異なった窓口からの入会に期待する。
生涯教育委員会	生涯教育基本研修を日本栄養改善学会東海支部会と共催することにより、入会案内につながるようになっている。
事業部	事業部としては対策を講じていない。
スポーツ栄養委員会	スポーツ栄養イベントのボランティアスタッフ募集の時点において、非会員の方がお手伝いを希望されており、ボランティアスタッフは、本会員が運営することとして募集をしたため、その方が会員になられた。
広報部 (広報・HP委員会)	公認スポーツ栄養士の活躍の場を設けることにより、非会員のスポーツ栄養に興味がある方は、本会に興味を持たれた結果である。
広報部	・広報活動全般が愛知県栄養士会の活動ならびに魅力の共有であり、退会抑制による継続会員増、非会員への接点拡大による新規会員増の取り組みとなる。
医療部会	・新たな取り組みとして、一般誌（ヘルスケアレストラン）への掲載を検討中
	・会員増対策については、医療部会においては、特に良い案がないのが現状である。
	・現代の社会情勢では、例えば医療施設でも特定の職能団体への勧誘がハラスメントと認定されてしまうリスクがあり、勤務先の未入会管理栄養士への声掛けや日栄のポスター貼りにも慎重にならざるを得ない。(勤務時間外の研修会への参加も呼びかけづらいのが現状である。)
	・看護協会では、病院の管理職や看護部長などが、部下に入会申込書を配り事実上の強制加入をさせると聞かせるケースがあり、問題になっていると聞き及ぶので、非会員への声掛け等も運営委員にも依頼しにくい。
学校健康教育部会	各地区の研修会での声掛けや継続忘れの会員への声掛け、新規採用者への声掛けを実施している。
勤労者支援部会	・少人数ではあるが「会員ではない方の研修参加」から入会に繋げていくこと。
	・活動のスリム化、会費の値下げ（または少額を毎月徴収する形）は検討出来ないか。
	■特に「タイパ」「コスパ」を気にする若者にとって、会費がネックに感じる
	■クレジット等のキャッシュレスで自動徴収にできれば「会費を支払うのが手間」という事にはなり辛い
研究教育部会	勤務先栄養士の先生方へは、入会継続の声掛けと会員増への協力依頼を行っている。また、新規着任の栄養士の先生方へは入会案内を行っている。
公衆衛生部会	行政栄養士研修会等で、栄養士会の入会や継続について、参加者に案内を実施予定。
地域活動部会	・新規：栄養士会で開催される研修会の告知や活動状況を知ってもらえることで魅力を感じてもらいたい、新規入会に繋がっている例がある。
	・継続：退会者抑え：こちらから個別に声掛けをする機会を持ち、日栄 e-ラーニングやスマホで日本栄養士会雑誌が読めること、県栄養士会の具体的なテーマなど、栄養士会を活用できる方法を共有することで、継続や退会者抑えに繋がっている例がある。
福祉部会	・計画：部会統合後については、今後検討していきたい。
	・会員目標数を掲げる。・ニーズに合った研修会を行い、研修会参加費に非会員と会員との差をつける。・信頼できる栄養士から入会案内され、さらに入会方法をレクチャーする。・新卒は入るが5年以内に退会する傾向が見られる為、魅力ある研修会の実施を目指す。
	・専門学校の養成校にあまり入会案内がなされていないかもしれないとの声がある為、他職域に共有する。
在宅医療・介護 運営委員会	①修了証の発行 研修会参加会員には修了証を出している。これは、在宅栄養ケア（訪問栄養）の実践における初心者研修の修了を意味し、実践基礎研修会（同行研修）の参加要件となる。訪問栄養へのニーズは高まっているため、研修会参加希望の会員が増加していると考えている。
	②在宅栄養業務の地区担当制 栄養 OS への在宅医療・介護・障害分野に関する依頼業務は年々増加している。当委員会は地区担当制を導入し、地域の研修会修了会員に業務依頼し、実践者を中心とした当委員会委員がスーパーバイズを担当している。初心者でも安心して実践できることに繋がっている。
	③入会のメリット ・学生対策：受講料半額、栄養ケアプロセス等養成校で学んでいる知識の実践として、卒後に県栄養士会で重要性を学べる機会にしている。
	・既卒対策：国の施策から在宅栄養ケアのニーズを示し、日常業務に役立つ研修会や相談できる体制整備、職能の枠を超えた会員同士の交流を図る。
食育推進運営委員会	・未入会栄養士への入会メリットを伝えている。(栄養ケア・ステーションへの登録で単発の仕事紹介があることを伝えたと、入会された方がいた。)
JDA-DAT 委員会	JDA-DAT（あいち D-DAT）の活動は、緊急時の迅速な対応には平時からの取り組みが必要であり、特に顔の見える関係性は緊急時でも迅速に意思疎通ができ、信頼やコミュニケーションにおいて強みとなるため、スタッフ、スキルアップ研修を設け深める機会としている。